

問 市政を運営していくに当たり、本市の課題や問題点とその改善策について伺う。

答 人口の減少が一番の課題である。結婚や出産を支える体制づくりや、ふるさとに戻ってきやすい環境を整えて、人口構造の若返りを図っていく。

市長の公約「5つのビジョン」について

問 「県・隣県・国とのパイプを強化し、北東北経済圏の確立」とあるが、北東北経済圏とはこのことで、どのようなメリットがあるのか。また、どのような観点での構想なのか伺う。

答 高速道路があることによる物流面の優位性を活かし、本市の経済基盤の底上げに寄与する取り組みを具現化し、私がこれまで培ってきた人的ネットワークを活用しながら、本市経済のさらなる成長を目指していく。

問 第7次総合計画の目的は人口減少対策であり、少子高齢化対策であると認識して

いるが、この計画を継続していくのか伺う。

答 人口減少は地方にとって重要な課題であり、第7次総合計画は私の政策、公約の方向と一致していることから、私が持っているパイプを使いながら、工場の誘致などをして、みんなと一緒に計画を実現していきたい。

問 産婦人科分娩機能を再開するのか伺う。

答 再開については、関係者に直接会い意見を聞きながら進めることにしているが、コロナ禍で県境を超えることができないため、現在は課題を整理しているところである。

児玉 悦朗 議員
(鹿真会)



質問した項目
■市長の公約「5つのビジョン」について



録画配信はこちらから

問 市内の企業によるドローンの事業発表会が開かれた。今後、いろいろな面で活用されると思うが、市として活用の可能性をどう見ているか。

答 大変有効だと認識している。機体認証制度や操縦ライセンス制度が創設され拡大が見込まれるが、今後の航空法の改正等を見ながらドローンの活用に取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症について

問 接種が完了する予定をどう見込んでいるか。また、3回目の接種は必要になるのか伺う。

答 当初は、8割の接種率を見込んでいたが、10月末までの予約状況は85%に達し、この時期でひと段落すると見込んでいる。11月以降は、新たに12歳になる方や未接種の方の受け入れ対応をしていくが、ワクチンの使用期限もあることから、希望する方には早めの予約をいただくように周知に努めている。3回目の

成田 哲男 議員
(誠心会)



質問した項目
■市長の基本方針について
■新型コロナウイルス感染症について
■医師確保対策について
■鹿角国体について
■ドローンの活用について

接種については、国から正式な通知等は届いていないが、今後の国や県の動向を注視し適切に対応していく。

問 感染者の公表については、各保健所単位で行われているが、市町村別の公表を希望する声に対する見解を伺う。

答 県においては、感染症のまん延を防止する目的で、発生状況等に関する情報を公表している。そのため、情報の発信により感染拡大防止を呼びかける必要がある場合には、県と連携しながら感染状況等の公表について関係機関と検討していくこととしている。



録画配信はこちらから